

## 中高生の科学部活動振興事業の支援を受けた地学部の活動～地域・専門機関と連携した水環境フィールドワーク

### Earth science club activities supported by Project for Enlivenment of Science Clubs in Schools, JST

上村 剛史<sup>1\*</sup>, 松岡 東香<sup>2</sup>, 濱田 浩美<sup>3</sup>  
UEMURA, Takeshi<sup>1\*</sup>, Haruka Matsuoka<sup>2</sup>, Hiromi Hamada<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 海城中学高等学校, <sup>2</sup> 筑波学院大学, <sup>3</sup> 千葉大学

<sup>1</sup>Kaijo Junior and Senior High School, <sup>2</sup>Tsukuba Gakuin University, <sup>3</sup>Chiba University

地球環境問題や自然災害など地球科学の重要性が増している。地球科学では、座学だけではなく野外で本物の自然に触れる活動が、生徒に好奇心を持たせ、深い理解につながる。私立の中高一貫校である本校では5年前から地学部を作り活動を行ってきた。当初は、土日や夏休みなどに野外へ出かけることが中心だったが、ここ数年は、それに加えてフィールドワークを核とした研究活動にも取り組み、都市の水環境（特に湧水）をテーマとした活動を始めた。

本校から近い新宿区立おとめ山公園には、今でも湧水が残っている。近年、枯渇・減少する湧水をモニタリングすることにより、水環境の変化を捉える事を大きな目的として、2008年より予備調査を開始し、これまで基本的な水質（水温・pH・電気伝導度）と流量の測定を現在まで継続してきた。同時に、視野を広げるために、静岡県柿田川湧水や滋賀県の醒ヶ井などの有名な湧水地を巡検することも行ってきた。

2010年度には、JSTの科学部活動振興事業に採択され予算をいただき、観測機器の購入や交通費・謝礼を伴う研究者との交流、遠方での研究発表など、部活動のさらなる充実に役立ててきた。支援を受けることで、定期的な観測項目の充実だけではなく、他機関との連携も深まってきた。研究者との連携では、調査や研究発表に対するアドバイスや研究活動の方法論の講義を行っている。また、地域との連携では、地元団体である「『落合蛭』を育てる会」と関わりを持ち、会誌への投稿、毎年行われる蛭観賞会での研究紹介、地域センター祭りへの参加などを行ってきた。今後も学外との連携を深め、部活動を通して、生徒の興味・関心を育て、地球環境問題などの現代的課題を解決していけるような力をも身につけさせたい。

キーワード: 部活動, 中高生, 湧水, フィールドワーク, 中高生の科学部活動振興事業

Keywords: School club activities, Field work, Spring, Japan Science and technology Agency